

大学等における修学の支援に関する法律による 授業料等減免の対象者の認定に関する申請書

放送大学長 殿

私は、貴学に対し、大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免の対象者としての認定を申請します。
申請にあたって、私は以下の事項を確認し、理解しています。

この申請書の記載事項は事実と相違ありません。なお、申請書の記載事項に事実と相違があった場合、認定を取り消され、減免を打ち切られることがある
とともに、在学する学校から減免を受けた金額の支払を求められることがあることを承知しています。

授業料等減免の対象者の認定手続きにおいて、独立行政法人日本学生支援機構(以下、「機構」という。)を通じ、放送大学が機構の保有する私の給付奨
学金に関する情報の送付を受けること、及び機構が放送大学の保有する私の授業料等減免等に関する情報の送付を受けることに同意します。

記入日:西暦 年 月 日

◎は記入必須欄。
○は該当者のみ記入。

フリガナ
氏 名
注)システム上対応できない旧字体や複雑な文字はJIS水準1～2程
度の文字で置き換えてください。

◎個人情報

性 別	男 ・ 女 (○で囲む)
生年月日・年齢	(西 暦) 年 月 日 歳
現 住 所	〒
住民票に記載の住所	現住所と同じ (○で囲む) 〒
電話番号・メールアドレス	(携帯・自宅) — —
	(メールアドレス) @
最も連絡のつきやすい手段	上記携帯電話番号・自宅電話番号・上記メールアドレス

○在学情報等

学 生 番 号	— — (数字10桁)
全科履修生への 入学・編入学年月	(西 暦) 年 4・10 月 (1年次入学・2・3・4年次編入学)
正規の卒業予定年月 (学生生活の葉P48参照)	(西 暦) 年 3・9 月 (編入学生は卒業予定年月を特に注意)
編入学者のみ記入	編入学前の学校への入学年月 年 月 編入学前の学校に在籍していた最終年月 年 月
現在の総修得単位数 (在生者のみ記入)	単 位 (内訳:放送授業: 単位・オンライン授業: 単位・面接授業: 単位)
今学期の履修単位数	単 位 (内訳:放送授業: 単位・オンライン授業: 単位・面接授業: 単位)

◎履歴情報

最 終 学 歴	(西暦) 年 月 高等学校 ・ 高等専門学校 (○で囲む。その他の者は下記欄に記入)
高等学校卒業程度認定 試験合格者	(西暦) 年 月 歳 (高等学校卒業程度認定試験の合格年月及び当時の年齢を記入)
選科・科目履修生での所定の単位 修得による本学全科履修生入学者	(西暦) 年 月 歳 (全科履修生としての入学条件を得た年月及び当時の年齢を記入)

◎日本学生支援機構「新たな給付奨学金」への申し込み状況

申し込み状況	申し込みを行った(申込日: 月 日) ・ 申し込みを行っていない(申込予定日: 月 日)
受付番号	(予約採用候補者はその奨学生番号を新規申請者は スカラネット入力後に表示される受付番号を記入)

※奨学生番号・受付番号の分かる書類のコピーを添付

◎「大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免の対象者の認定に関する申請」に過去申請をしたことはあるか

過去の申請状況	過去申請をしたことはない(以下回答不要) ・ 過去申請をしたことがある(以下回答必須)
過去に支援を受けた期間について	(学校名) (その期間) 年 月 ~ 年 月
入学料の減免について	以前の学校で入学料の減免を受けた ・ 以前の学校で入学料の減免を受けていない

◎現在、放送大学以外に「大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免の対象者の認定に関する申請」をしているか

申請状況	放送大学以外に申請を行っていない(以下回答不要) ・ 放送大学以外にも申請を行っている(以下回答必須)
進学先確定時期について	西暦 年 月 (進学先が確定する時期を記入、放送大学の授業料振込期限を必ず確認すること)

○過去の日本学生支援機構の奨学金貸与状況
(給付・貸与を受けたことがあれば今までの番号を全て記入。書ききれない場合は欄外を使用。)

当時の奨学生番号	給付 貸与	(採用期間:(西暦) 年 月 ~ (西暦) 年 月)
当時の奨学生番号	給付 貸与	(採用期間:(西暦) 年 月 ~ (西暦) 年 月)
当時の奨学生番号	給付 貸与	(採用期間:(西暦) 年 月 ~ (西暦) 年 月)
当時の奨学生番号	給付 貸与	(採用期間:(西暦) 年 月 ~ (西暦) 年 月)
当時の奨学生番号	給付 貸与	(採用期間:(西暦) 年 月 ~ (西暦) 年 月)

○あなたは社会的養護を必要とする、あるいは高等学校等在籍時に必要としていた方か

該当する場合のみ○で囲む	申請者自身が主として生計を支えており、社会的養護を必要としている		
	児童養護施設入所者等	児童自立支援施設入所者等	児童心理治療施設入所者等
	自立援助ホーム入所者等	里親に養育されている(いた)	ファミリーホームで養育されている(いた)

※社会的養護を必要とする、あるいはしていた方の場合、生計維持者の欄は記入不要です。児童養護施設等の在籍又は退所証明書を添付してください

◎生計維持者に関する基本情報(無収入の場合等も生計維持者1・2は原則両親) ※生計維持者情報欄は原則1・2共に記入

生計維持者1(必須)	申請者本人との続柄: 父 ・ 母 ・ 本人 ・ その他()
生計維持者2(必須)	申請者本人との続柄: 父 ・ 母 ・ 本人 ・ その他()・生計維持者は1の人物の
生計維持者1が 本人の場合のみ記入	家族と別居しなくてはならない特殊な事由を記入→
	家族から仕送り等金銭的補助を受けていますか → 受けている ・ 受けていない

◎生計維持者1に関する詳細な情報(本人の場合も記入)

生年月日・年齢	(西 暦) 年 月 日 歳
現住所 (申請者本人と同居の場合は 右欄に「同居」と記入)	〒
電話番号・メールアドレス	(携帯・自宅) — — , @
連絡のつきやすい手段	携帯電話番号 ・ 自宅電話番号 ・ メールアドレス
生活保護の受給について (どちらかを○で囲む)	2020年1月1日時点で生活保護を受給している(※生活保護受給証明書を添付) 2020年1月1日時点で生活保護を受給していない
住民票の住所	2020年1月1日時点で日本国内に住民票の登録がある ・ 2020年1月1日時点で日本国内に住民票の登録がない

◎生計維持者2に関する詳細な情報(本人の場合も記入)

生年月日・年齢	(西 暦) 年 月 日 歳
現住所 (申請者本人と同居の場合は 右欄に「同居」と記入)	〒
電話番号・メールアドレス	(携帯・自宅) — — , @
連絡のつきやすい手段	携帯電話番号 ・ 自宅電話番号 ・ メールアドレス
生活保護の受給について (どちらかを○で囲む)	2020年1月1日時点で生活保護を受給している(※生活保護受給証明書を添付) 2020年1月1日時点で生活保護を受給していない
住民票の住所	2020年1月1日時点で日本国内に住民票の登録がある ・ 2020年1月1日時点で日本国内に住民票の登録がない

※上記に記入した生計維持者と申請者本人のマイナンバー書類を専用の封筒を使用して提出してください。

◎資産情報

申請者(あなた)と生計維持者(原則 父母)の資産の合計は2,000万円未 満(生計維持者が1人の場合は 1,250万円未満)ですか。	はい ・ いいえ
申請者本人と生計維持者の資産額 (1万円未満は切り捨てて記入)	申請者本人: 万円 生計維持者1: 万円 生計維持者2: 万円

◎以下を読んで同意していただける場合は、チェックマークを入れてください。

- 「高等教育の修学支援新制度」の申請要件を理解しています。
申請が通らなかった場合でも提出書類等が返送されないことを理解しています。